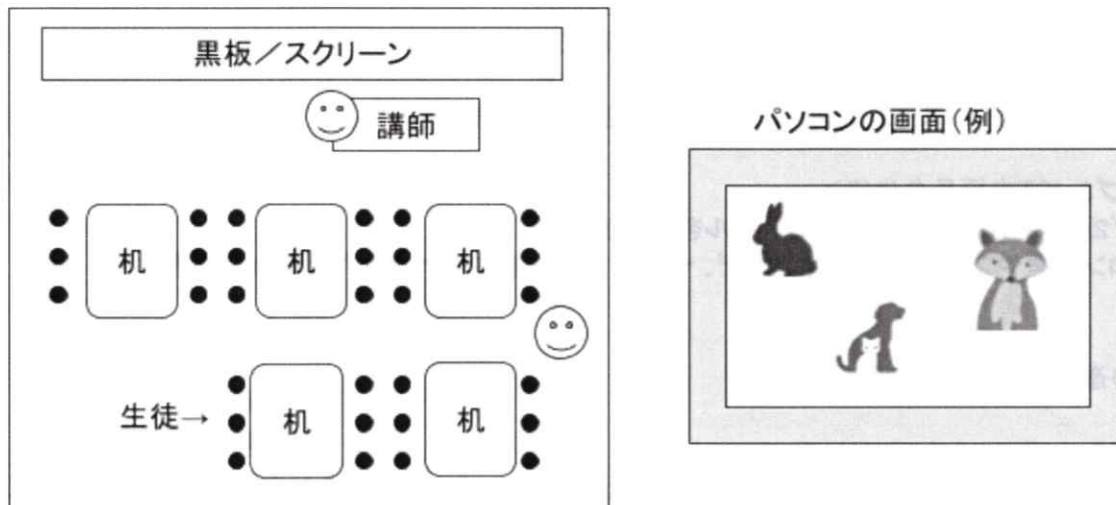


片瀬小におけるパソコン支援要員制度(案)に関して

1. 背景

文部科学省が推進するGiga(ギガ)スクール構想の下、片瀬小学校にもパソコンやタブレットが配備され、児童生徒に向けたIT教育が開始されている。7月6日(火)に低学年向けのICT教室の視察を行い、その時の授業では、設問に対してパソコンの画面に映し出されている適切な図形(アイコン)をクリックし、正解であれば画面が動き出すというようなカリキュラムであった。

40名弱の生徒が5つのテーブルに分かれて着席し、ICT支援員が講師役となりカリキュラムを推進し、担当教諭がサポート役となり、操作に詰まっていたり取り残されている生徒を支援する体制にて運営を行っていた。



2. 現状の課題

講師役が随時生徒の理解度を確認しながら授業を推進するも、特に低学年の児童生徒においては習熟度のばらつきが大きく、また興味が多様であり、一つに集中し続ける難しがあり、理解不足や操作不慣れにより授業が中断することを前提に進めなければならない。このため、40名弱の児童生徒に対して同じ内容で、同じ速度で一斉に授業を進めることは困難な状況下にあることを理解した。

3. 対策

どのような支援を行うかは学校長と協議して決めていく必要があるが、児童生徒のサポートを行う要員(タイプ1人材)が1回の授業あたり3人程度、タイプ2人材が1人程度、合計4名のサポートが望ましいと考えている。また、ICT支援員が高頻度に在籍できないことから、タイプ3人材を確保し、地域が一体となり児童生徒を支援する体制を、将来的な支援体制とすることも検討項目であると考えている。

<共通して必要なマインドセット>

- ・教育や地域貢献に対して関心がある方
- ・指導員や先生の補助要員である立場を理解し、サポート役に徹してくれる方
(個人の考え方・教え方を強制・強要しない)

<タイプ1:児童生徒のICT操作補助員>

- ・パソコンの操作が行える方(マウス、キーボード操作)
- ・ブラウザの利用や簡単なソフトウェア操作ができる方
- ・想定する人材像:業務にてパソコンを利用している事務員

<タイプ2:児童生徒のICT操作スペシャリスト>

- ・タイプ1のスキルに加えて以下のスキルを保持される方
- ・パソコンやネットワークの基本的な仕組みを理解している方
- ・パソコントラブルなどへ主体的に対応・復旧ができる方
- ・想定する人材像:システムエンジニア、もしくは相当するスキル

<タイプ3:ICT支援員の代行>

- ・タイプ2のスキルに加えて以下のスキルを保持される方
- ・パソコン教室やプログラミング教室など、一般市民や児童生徒へ教えた経験がある方

4. 今後の進め方

<主幹>

パソコン支援要員をコミュニティスクールが主幹となり広く地域の方々に参加を呼びかけるのか、もしくは学校やPTAが主幹となるのか、方針を定めて推進していきたい。

<応募・人選>

何が主幹となった場合において、背景、目的、役割、求めるICTスキルを記載したプリントを作成し、在校生保護者への配布や地域への配布(手段は応相談)を通じて、広くボランティアを募る必要がある。応募に際してはGoogle Formsを利用したオンライン申し込みとし、志望動機や職歴などを記載いただき、オンラインでの面談を通じて、学校長含めて採用可否を判断する仕組みとしたい。(児童生徒への安心・安全への配慮)

<運営>

運営フェーズにおいては、ボランティア同士の連絡はLINEやZOOMを活用して、物理的に集合することなくオンライン中心の会議にて推進することを基本としたい。(新型コロナへの配慮、時間的な融通のし易さ)